

2016
Vol.25
THE BSSC JOURNAL
通巻25号 2016年7月14日発行



びわこ成蹊スポーツ大学新聞

Biwako Seikei Sport College

THE BSSC JOURNAL

びわこ成蹊スポーツ大学の「今」を伝える

©びわこ成蹊スポーツ大学新聞編集部 〒520-0503 大津市北比良1204番地 <http://bsscj.jp/>

京滋大学野球リーグ 表彰選手



京滋大学野球リーグの表彰選手が発表され、本学から4人が選ばれた。

敢闘賞は藤村凌遊撃手。素晴らしいキャプテンシーを発揮して、チームをまとめたことが評価された。新人賞は1年生ながら攻守に活躍した杉原竜希捕手が獲得した。

ベストナインには山口拓朗投手と山崎賢人外野手が選出された。



藤村主将



山口投手

リーグ戦の試合結果

	対戦相手	勝敗	得点
第1節	福知山公立大	1回戦 ○	14-4
		2回戦 ○	2-1
第2節	花園大	1回戦 ○	8-0
		2回戦 ●	1-2
		3回戦 ○	3-2
第3節	佛教大	1回戦 ●	0-4
		2回戦 ○	9-1
		3回戦 ●	3-5
第5節	大谷大	1回戦 ○	2-0
		2回戦 ○	11-4
第6節	京都学園大	1回戦 ○	7-5
		2回戦 ●	6-7
		3回戦 ○	3-0

京滋大学野球1部 春季リーグ戦勝敗表

順位		花園大	びわスポ大	京都学園大	佛教大	福知山公立大	大谷大	勝	敗	勝点	勝率
1	花園大		●●●	○△○	○○	○○	○○	9	2	4	0.818
2	びわスポ大	○○●		○●○	●●●	○○	○○	9	4	4	0.692
3	京都学園大	●△●	●●●		●○○	○○	○○	7	5	3	0.583
4	佛教大	●●	○○○	○●●		○○	○○	7	5	3	0.583
5	福知山公立大	●●	●●	●●	●●		○●○	2	9	1	0.182
6	大谷大	●●	●●	●●	●●	●●●		1	10	0	0.091

(3、4位は直接対決の結果による)

秋こそ優勝だ!

初の勝ち点4で2位

開幕戦の福知山公立大は打線がつながり14-4と圧勝。続く2戦も勝利し、連勝で勝ち点を奪う好スタートを切った。第2節の花

園大は昨秋、連敗している相手。厳しい戦いが予想されたが1戦目を8-0と圧勝。2回

戦は粘り負けたが、3回戦は終盤に追い上げた。しかし、第3節の佛教大では1回戦を収め「今こそリ

グV」という光が見えてきた。しかし、第3節の佛教大では1回戦

を落とし、2

初めて勝ち点4を奪取。リーグ終盤まで優勝争いに加わった。残念ながら悲願の優勝は達成できなかったが、藤村主将は「勝ち点4を取り、9勝できたことで、この歴史に新たなページをつくることができました。ただ10勝することができず、あと1勝の弱さが出てしまった」と喜びと悔しが入り交じったコメント。

今季はリーグ戦経験者の4年生が多くメンバーに残った。昨秋4位という悔しい結果に「今こそ優勝」との思いが強い選手が多かった。チーム全体の意識の見直しを行い、「質より量」を掲げ、全力疾走やかけ声といった技術以外のチームの決まり事を徹底。冬場のトレーニングやランメニューも今まで以上に負荷を上げ、バットを振る量も増やした。

京滋大学野球1部の春季リーグ戦は4月6日から5月27日まで行われ、硬式野球部は9勝4敗で勝ち点4を初めて奪い、2009年春季以来の2位となる好成績を挙げた。終盤まで優勝争いに加わりながらも勝率の差で惜しくもリーグ戦初制覇はならなかった。優勝した花園大から勝ち点を奪いながら、佛教大との3回戦に競り負け「あと1勝」に泣いた。

その成果が表れ、打線の強さが出てきた。9勝中の3勝がコールド勝ちだった。

秋のリーグ戦では優勝の期待が高まる。藤村主将は「最後の1勝を奪える力と勝利への執着心をさらに向上させたい」と語り、「秋こそは10連勝で完全優勝」と強い意気込みを披露した。

ウィンドサーフィンで

伊勢田愛リオ五輪出場



本学大学院スポーツ学研究科1年生の伊勢田愛が、リオデジャネイロ五輪に出場する。セーリング女子RS:X級(ウィンドサーフィン)の世界選手権(昨年10月)で同五輪代表に決まった。

ウィンドサーフィンは風を読み、スピードに乗って水上を疾走する。伊勢田は2011年のユニバー

シアード代表。14年の世界選手権にも出場し、昨年の世界選手権で日本勢のトップ(21位)となっており、初めての五輪切符を手にした。

5月中旬から6月末までリオデジャネイロで長期の合宿を行い、現地の海面に慣れるとともにコンディション、天候など多くの情報を仕入れた。

「今やるべきことをやり、足りないものを一つずつ克服して、オリンピックまでに少しでも成長したい。本番では悔いのないよう、挑戦者として思い切りレースをする。目標は、最終日のトップ10しか出られないレースに出ること、そしてメダル」と、リオ五輪への抱負を語った。

LINEスタンプもあるHo!

スポーツ報知のゆるキャラ「Ho!さん」です

お試し無料1週間

ようしくね!

読んでね!

スポーツ報知

関西学生選手権

			得点		対戦相手
3回戦	びわスポ大	4	2-0	0	京都大
			2-0		
得点者：上村大悟、井上直輝（3）					
			得点		対戦相手
4回戦	びわスポ大	4	1-1	2	京産大
			3-1		
得点者：喜多村知範、曾根田穰（2）、熊田克斗					
			得点		対戦相手
準々決勝	びわスポ大	2	0-0	1	関学大
			1-1		
			延長		
			0-0		
			1-0		
得点者：曾根田穰（2）					
			得点		対戦相手
準決勝	びわスポ大	0	0-0	1	大体大
			0-1		
			得点		対戦相手
3位決定戦	びわスポ大	0	0-0	2	立命大
			0-2		

関西学生リーグ前期結果

(第9節終了時点)

	対戦相手	勝敗	得点
第1節	大体大	●	1-2
第2節	立命大	△	0-0
第3節	京産大	○	1-0
第4節	阪南大	●	1-3
第5節	関学大	○	2-1
第6節	桃山大	●	1-2
第7節	大院大	○	2-0
第8節	大教大	○	3-0
第9節	近畿大	○	2-0

今年も大型ルーキーが加入した。ジュニアユース、ユース時代からベガルタ仙台で活躍したゴールキーパーの田中勘太。4月には、大学に所属したままJリーグの試合に出場できる特別指定選手となった。

岩手県大船渡市出身。地元は中学2年の時に東日本大震災

大きな被害を受けただけに「被災地の星になりたい」という。今季の目標はスタメン定着と新人賞受賞。望月監督は「物おじしない素晴らしい選手」と今後の彼の活躍に期待している。

る。フレッシュマンの力がチームに大きな影響を与え、サッカー部の躍進へつながってほしい。

学生Jリーグに現る



サッカー部男子

2度目の総理大臣杯



8月に行われる総理大臣杯全日本大学サッカー大会の出場権をかけた関西学生選手権は5月8日から6月5日に行われ、本学がベスト4に入っ

出場決定

3回戦からの登場。初戦で京都大に4-0と快勝すると、4回戦では京産大を4-2で退けた。勝てば総理大臣杯出場となる準々決勝の関学大戦が大きなヤマ場だった。後半に1点を先行されたが、終了間際に曾根田がこぼれ球を押し込んで追いつき延長へ。その後半に右コーナーキックから曾根田が頭で決めて、2-1で勝利をものにした。攻守に粘り強いプレーで、リーグ戦に続いて難敵を倒し

リーグ戦でも浮上

昨年は関西学生リーグ8位という不本意な結果に終わったサッカー部男子。今シーズンはスタートこそつまづいたものの、第7節から3連勝して、リーグ戦前期第9節を終えて5勝1分け3敗の勝ち点16で5位に浮上した。

リーグ戦序盤の4月は1勝1分け2敗と苦しんだが、5月に入って2勝1敗。第5節、格上の関学大戦は立ち上がりが悪く、前半9分に失点。だが、ここで火が付いたびわスポ・イレブン。徐々にペースをつかむ。後半、荒木のスーパーゴールで追いつくと、終了間

際に清川のゴールで勝ち越し、貴重な勝利を挙げた。関学大に勝ち、勢いに乗ったと思われるが、第6節の桃山大戦は前半に2点を奪われ、1-2で敗れた。「勝った試合は11人全員で粘り強いディフェンスができていたが、負けた試合はその粘り強さが欠けている」と

望月監督。失点はつきもの。そこで、これらの課題は「失点を上回る得点力、攻撃力のアップ」と同監督は語った。

関西学生選手権で準決勝まで進み、チームとしての土台が出来上がった。リーグ戦再開後は大教大と近畿大に快勝した。司令塔の嘉茂（4年）を中心に2年ぶり3回目の全日本大学選手権（インカレ）出場に向けて熱い戦いを期待したい。

2016年度 第94回 関西学生サッカーリーグ（前期）勝敗表

順位		関学大	阪南大	桃山大	大院大	大体大	立命大	関西大	びわスポ大	京産大	近畿大	同 大	大教大	勝	負	分	得点	失点	得失点差	勝点
1	関学大				○ 1-0	○ 2-0	○ 1-0	● 1-2	● 1-2	○ 4-1	○ 3-1	○ 4-1	○ 2-0	7	2	0	19	7	12	21
3	阪南大			○ 2-1	△ 0-0		● 1-3	○ 2-1	○ 3-1	○ 4-1	○ 2-1	● 0-2	○ 8-1	6	2	1	22	11	11	19
8	桃山大		● 1-2			● 1-3	△ 1-1	● 1-2	○ 2-1	○ 2-1	● 1-2	○ 2-1	○ 1-0	4	4	1	12	13	-1	13
9	大院大	● 0-1	△ 0-0			● 1-2	△ 2-2		● 0-2	● 0-1	● 2-3	○ 4-0	○ 3-2	2	5	2	12	13	-1	8
2	大体大	○ 0-2		○ 3-1	○ 2-1			○ 2-1	○ 2-1	○ 4-0	● 1-2	○ 3-1	○ 3-0	7	2	0	20	9	11	21
4	立命大	○ 0-1	○ 3-1	△ 1-1	△ 2-2			○ 1-0	△ 0-0		△ 2-2	○ 3-1	○ 2-0	4	1	4	14	8	6	16
6	関西大	○ 2-1	● 1-2	○ 2-1		● 1-2	● 0-1			○ 1-0	△ 1-1	○ 2-1	○ 2-0	5	3	1	12	9	3	16
5	びわスポ大	○ 2-1	1-3	● 1-2	○ 2-0	● 1-2	△ 0-0			○ 1-0	○ 2-0		○ 3-0	5	3	1	13	8	5	16
10	京産大	● 1-4	● 1-4	● 1-2	○ 1-0	○ 0-4		● 0-1	● 0-1			○ 1-0	○ 0-1	2	7	0	5	17	-12	6
7	近畿大	● 1-3	● 1-2	○ 2-1	○ 3-2	○ 2-1	△ 2-2	△ 1-1	● 0-2			○ 4-1		4	3	2	16	15	1	14
11	同 大	● 1-4	○ 2-0	● 1-2	○ 0-4	● 1-3	● 1-3	● 1-2		● 0-1	● 1-4			1	8	0	8	23	-15	3
12	大教大	○ 0-2	1-8	○ 0-1	● 2-3	○ 0-3	○ 0-2	○ 0-2	○ 0-3	○ 1-0				1	8	0	4	24	-20	3

第93回 関西学生陸上競技
対校選手権大会

主な決勝記録

名前(学年)	種目	記録	順位
吉田 拓也(3)	100m	10秒62	5位
	200m	21秒34	3位
塩屋 陸(1)	10000m競歩	45分23秒21	7位
菅浪 裕也(3)		45分52秒70	8位
千賀 拓(4)	走り高跳び	2m00	7位
上村 太一(2)		2m00	7位
板東 欽揮(4)	棒高跳び	4m70	7位
藤原 僚二(4)	三段跳び	15m22	7位
赤澤 翔也(4)	ハンマー投げ	54m64	8位
黒田 貴稔(3)	十種競技	6958点	3位

名前(学年)	種目	記録	順位
太田 奈穂(4)	円盤投げ	39m97	4位
梅本 志穂(4)	やり投げ	48m92	7位

男子1部〈総合〉

順位	学校名	総合得点
1位	関西学院大	206.5点
2位	立命館大	111点
3位	同志社大	93.5点
4位	京都産業大	87点
5位	大阪体育大	81.75点
6位	大阪教育大	60点
7位	近畿大	43点
8位	京都大	41点
9位	関西大	40.25点
10位	京都教育大	39点
11位	龍谷大	28.5点
12位	びわスポ大	25.5点



健闘及ばず 2部降格

第93回関西学生陸上競技対校選手権は5月12日から4日間、大阪・ヤンマースタジアム長居で開催された。12の大学で争った男子1部で、本学は総合得点25・5の最下位となり2部降格が決まった。

残念な結果に終わったが、短距離で吉田拓也(3年)が気を吐いた。100mは10秒62で5位、200mでは21秒34をたたき出し、日本インカレ標準記録B(21秒35)を突破して3位に入り、表彰台に上った。十種競技の黒田貴稔(3年)も同標準記録A(6920点)を見事に突破する6958点で、3位入賞を果たした。

7位。千賀拓(4年)と上村太一(2年)が走り高跳びとともに7位に入った。板東欽揮(4年)は棒高跳び7位だった。1万m競歩では塩屋陸(1年)が7位、菅浪裕也(3年)は試合中に足をつりながら歩き切り、8位となった。ハンマー投げの赤澤翔也(4年)は8位。

スタッフ一同サポートしきれない面もあった」と敗戦の弁。新任の藤林コーイチは「今まで以上のトレーニングを課し、強くなるための環境を作るためにサポートする。1年で1部に昇格するために引く張る」と決意を語った。

女子では円盤投げの太田奈穂(4年)が4位となり、やり投げの梅本志穂(4年)は7位だった。

ウエイトリフティング部 今年も大活躍



昨年からの活動を始めたウエイトリフティング部が、こども実績を残している。5月の全日本女子選手権69キロ級で1年の中嶋さやかがスナッチ75キロ、ジャーク98キロのトータル173キロで5位に入った。



サッカー部女子

サッカー部女子は、初めての関西学生女子リーグ1部の舞台で奮戦した。2016年春季リーグは5月に始まり、第1節は大体大に0-8、第2節は優勝した姫路獨協大に0-7で

敗れた。それでも第3節の武庫川女大戦で1-0とディフェンシブなゲームをものにして初勝利を挙げた。

この後、神戸親和女大と追手門学院大に連敗。大阪国際大に2-12で敗れた。結局、1勝1分5敗、勝ち点4の7位で、2部との入れ替え戦に回った。

1部リーグ
7位

残留!

クラブ Club トピック Topic

アルティメット部の中本優香(2年)は世界ジュニア選手権のU-20ウィメン部門日本代表に選ばれ、夏のポーランドでの同大会に遠征することになった。

男子フットサル部は関西学生選手権の準決勝で、優勝した摂南大に3-4で惜敗して3位だった。東亮佑(4年)が大会の得点王となった。

水球は西日本女子競技大会で準優勝を果たした。

フレッシュマンキャンプ!!!

368人の新入生と編入生、留学生を迎えて、三大美習のひとつ「フレッシュマンキャンプ」が4月5日から11日までキャンパスA・Bの2グループ、各16班に分かれ3泊4日の日程で行われた。

前半のキャンプAは悪天候のため、メインプログラムである武奈ヶ岳登山が中止となり、クラス対抗ドッジボール大会を実施した。後半のキャンプBは登山を含め予定していたプログラムを順調にこなすことができた。

豊かな自然に囲まれたびわ湖畔でのキャンプ生活はしめは知らない者同士でぎこちなかったが、野外ゲームや夕食作りをとおして新しい仲間がたぐさんでできた。1年生にとっては忘れられない思い出となる意義深い日々となった。



好評発売中 アスリート饅頭!

3月から「アスリート饅頭」が販売されている。本学の地元である北比良グループの皆さんが、管理栄養士でもあるトレーニング・健康コース武田哲子講師の協力のもと開発した。地元産のもち米、うるち米と味噌、麹が使用され、タンパク質・脂質・糖質がバランス良く摂取できるように工夫され、おやつ感覚で食べることができる。

炊き込みおこわとカレー
おこわの2種類があり、炊き込みおこわは「おにぎり」と味噌汁と一緒に食べられるもの」という発想。カレーおこわは「学生の嗜好を考慮」してキーマカレーを包み込んだ。

アスリート饅頭の価格は1個150円。大学売店で販売は火曜日・水曜日・金曜日・日曜日のみ。個数限定販売なのでぜひ一度召し上がってみてください。

びわこ成蹊スポーツ大学

〒520-0503 大津市北比良1204番地
【代表】TEL:077-596-8410 FAX:077-596-8419 E-mail:jim@bss.ac.jp



JR比良駅から線路沿いに徒歩約15分。JR京都駅よりJR比良駅まで約40分。

